

み

ん

な

の

文

芸

短歌 全16首

榎本順江選

投稿数 16句

野に遊び健康寿命計りけり

(評)家事も運動も意欲的にこなしていくも健康寿命が気になります。作者は自然に触れる遊びの中で体を動かし、気分転換、まだまだ元気で過ごせると自信を持たでしまう。下五に気持ちの重さを感じます。二句目、降り出した雪、いつもなら帰つて来る時間なのに息子はまだ帰らず、母は外の様子が気になり落ち着いて居られません。煩事がそれでも心配して待つやさしい母です。三句目、新年早々インフルエンザで入院された作者。幸い重症にならず、快方に向い、七日粥を食べられた様子。春の七草を入れた粥は邪氣や万病を防いでくれると言われがります。

雪の夜のまだ帰り来ぬ息子待つ

三沢 鈴木 貞惠

縁側の小さき陽だまり毛糸編む

下日野沢 浅見 豊子

癒えてきしインフルエンザ七日粥

三沢 真下 杏子

待ちわびて鼻唄出づる早春賦

三沢 新井 民子

渋り目に点眼二滴春隣り

皆野 戸塚喜久雄

春めくや万象にわかに活気帶ぶ

皆野 引間 千鶴

微笑んで嬰児指さす梅の花

国神 鈴木 正文

かけ回る犬の背中に雪積もる

皆野中一年 太幡琉美花

孫二人ダブル受験の忙しさよ

皆野 根岸 詩子

陽を浴びて走る子供の凧あがる

皆野 村田ハツ代

安寧な一日今日もありがとう！町民守る皆野町消防団
彩の無き庭に咲き初む節分草かすかに聞こゆ早春の鼓動
登谷山より帰りし子らのスマホ見れば平野の涯を染む御来光
二百六十名の自衛隊員不穏なる地域に送くる家族の内心

昭和平成八十五年令和を重ねて百寿

初場所の優勝力士うれし泣き見て居る吾も貰い泣きする

帰郷せし孫より貰う膝掛けで嬉しき心編み物進む

理科室でモスキート音実験し老化を感じ肩落とす師よ

どの山が甲武信・雲取問ふてみむ二人で眺む雪の秩父嶺

割れる様初場所二日遠藤が白鵬破るえんどお一チャチャチャ
「行つて来ます」「只今」とことば掛ける吾を笑みて見守る遺影の夫よ

淡々と廻る寿司屋が寿司屋だと思ひこんでる少年の居て

ではまたと玄関出でし友を追い小雨の夕に傘差し出しむ

節分のくれば偲ばる若き日の豆撒く父の声忘れ得ず

パニックの映画のような中国の肺炎ニュース見ていて不安

ラグビーの福岡選手いだてんの巧みな走りにスタンンドは沸く

三沢 新井 叶子

皆野 下日野沢 国神 藤原マキ子
皆野 三沢 新井 鈴木 貞恵
皆野 上日野沢 浅見 豊子
打木 四方田利男

1歳になる赤ちゃんを募集しています

ご応募いただいた赤ちゃんは、全員掲載します。誕生日の前月10日までに、みらい創造課窓口(写真をご持参ください)または、町ホームページからお申し込みください。



応募フォーム

4月号の締め切りは、
3月10日(火)です。

問合せ みらい創造課
☎26-7334

1歳のお誕生日おめでとう

じゅうか
柊華ちゃん

上三沢区
山口 達也さん
奈緒美さん



笑顔がカワイイ♡我が家のアイドル。大好きなお兄ちゃん達と一緒に大きくなつてね!

今月の題字

三沢 小3年

小池 楓雅さん



児童の見守り放送

三沢 小6年

新井 稀さん

